

「Vてたまるか」の意味・機能について

— 「Vるものか」との比較から —

井上 直美

【キーワード】

級外項目 反語 コーパス 対人発話と心内発話 類義表現

【要旨】

本稿は、「Vてたまるか」という表現について、コーパスを用いて使用実態を調査し、「Vるものか」との比較からその意味・機能を明らかにするものである。調査の結果、「Vてたまるか」は、「～て」で示した事態が話し手にとって堪えがたく、「受け入れられない」という不快な感情を直接述べる表現であること、「Vるものか」とは違って意志的行為を表す動詞とは共起しにくいこと、使用場面は対人発話よりも心内発話として多く用いられていることを明らかにした。さらに、「負けてたまるか」と「負けるものか」のように両者の意味が近似するケースや、置き換えの可否についても検討し、反語の種類を「事態否定型（仮定タイプ・事実不認定タイプ）」と「事態否定不能型（「ない」の代用・全量否定）」に分けて示し、「Vるものか」との違いを明確にした。

1. はじめに

本稿の考察対象「Vてたまるか」は、『日本語能力試験出題基準〔改訂版〕』に記載のない、いわゆる「級外項目」と呼ばれる文法項目である。先行研究において、「Vてたまるか」は、疑問文の形をしているが、相手への問いかけ性を失い反語の解釈が固定化した形式だとされる。このような専ら反語を表す表現には、「ものか」（『日本語能力試験出題基準〔改訂版〕』2級項目）があり、日本語学習者にとって「負けてたまるか」と「負けるものか」のように置き換えられる場合と「二度と行くものか」と「*二度と行ってたまるか」のように置き換えられない場合の違いが気になるところである。

そこで、本稿では、一般に日本語学習教材類に詳しく解説されない「Vてたまるか」について、「Vるものか」との比較考察を行うことによって、その特徴を明らかにし、日本語教育における提示のポイントを示す。

2. 先行研究と本稿の課題

2-1 反語専用形式とは

『日本語文法事典』の「反語」の項には、「反語とは、疑問文によって問いかけることによって、聞き手や読み手が当然認識しているべき内容を再認識させるというものである。質問の形を取りながら、実際には強い主張を表すという形式と機能のずれをとらえて、修辞疑問文 (rhetorical question) とも呼ばれるものである」(pp.510-511、執筆者 安達太郎) と説明される。反語文と疑問文は連続的であり、その線引きは必ずしも明確ではないことが知られているが、「反語」と呼ばれる表現の中には、文末の音調が下降イントネーションで発話され、聞き手への問いかけ性を失って専ら反語文になる「Vてたまるか」、「Vるものか」等の表現形式がある。案野 (2014) ではこれを「反語専用形式」と呼んでいる。本稿もこのような表現形式を「反語専用形式」として扱う。

2-2 日本語教材類における「Vてたまるか」の記述

「Vてたまるか」という表現は、級外項目ということもあり、日本語教材類に記述が少ない。日本語学習用の代表的な文型辞典、グループジャマシイ (1998) や近年構築された文型のデータベースである堀ほか (2015) にも「Vてたまるか」は立項されていない。記載のあるものとしては、文法問題集の落合・原 (2004) がある。同書には「悔しいので～わけにはいかない」(落合・原 2004 : 53) という意味説明と 3 つの用例が示されているが、「Vるものか」との違いなど詳しい解説はなされていない。

2-3 「Vてたまるか」と「Vるものか」の両者を扱う先行研究

日本語記述文法研究会 (2003) は、「Vてたまるか」、「Vるものか」の両者を反語的な意味が固定化した形式だとした上で、「てたまるか」は「個人的な評価に基づいて逆の判断を訴えるもの」(日本語記述文法研究会 2003 : 51)、「ものか」は「一般的な性質に基づいてそれが成り立たないことを確認させるもの」(日本語記述文法研究会 2003 : 51) と説明している。また、両者の置き換えに関しては、次に示す (1)、(2) を挙げて、以下の指摘がある。「ものか」は真偽疑問文でも補充疑問文でも使用できるのに対し、「たまるか」は真偽疑問文にしか使用できないというものである。

(1) 私たちの仕事をあいつが {手伝うものか／手伝ってたまるか}。

(日本語記述文法研究会 2003 : 51)

(2) こんな不便なところまでだれが {来るものか／*来てたまるか}。

(日本語記述文法研究会 2003 : 51)

次に、反語専用形式 4 種 (たまるか・ものか・たまるものか・(人名詞) があるか) について、コーパス、小説、ライトノベル、漫画、シナリオ、雑誌などの実例を用いて、

その特徴を詳細に記述した案野（2014）を見ていく。案野（2014）は、「Vてたまるか」について、動詞の受身形と共起することが多いことを指摘し、「たまるか」は反語メーカーであり、その特徴として、抵抗可能でしかも迷惑、不本意、不快なことを示す命題のテ形に接続しそのことを話し手が阻止したり、拒絶したりする文を構成する単位である」（p.59）と述べ、マイナス方面の感情を表すとした。「ものか」は、「意志動詞を述語とする命題に接続すると強い否定的意志を、無意志動詞を述語にする命題に接続すると強い否定的確信を表す」（p.62）と述べ、プラス方面の感情も表すと説明している。さらに「たまるものか」に関しては、動詞から発した助動詞相当語句「たまる」に終助詞化した「ものか」が承接した形式で、「命題の絶対的否定或いは絶対的拒絶を表す」（p.65）とし、使用文脈を観察した上で「たまるか」単独より強い気概を表すと述べている。しかし、それぞれの形式が別々に分析されているため、両者の置き換えには言及されておらず、さらなる分析の余地があると考えられる。

そこで、本研究では、「Vてたまるか」について、「Vるものか」と比較考察することによって、その特徴を明らかにし、日本語学習者に有用な情報提供を行うことを目指す。

3. 調査及び結果

3-1 調査方法

本研究では、事例を収集し、探索型アプローチで「Vてたまるか」および「Vるものか（撥音化した「もんか」を含む）」の特徴を分析する。事例の収集には、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（以下、BCCWJ）を用いた。検索には検索アプリケーション『中納言』の短単位検索で、文末に現れる「Vてたまるか」、および「Vるものか」を抽出し、「Vてたまるか」は110例全てを、「Vるものか」は389例のうち、「～によるものか」等の考察対象外となる用例60例を除外した329例を考察対象とした。

3-2 調査結果

調査項目は、1) 前接動詞の形、2) 前接動詞別の出現頻度、3) 使用場面、である。以下、結果を示す。なお、BCCWJの用例には、括弧でサンプルID、出典を付した。

3-2-1 前接動詞の形

前接動詞の形に注目し、その出現数をまとめたものが表1、表2である。

¹ 「Vてたまるか」の検索方法：「キー」品詞：大分類：動詞、「後方共起1キーから1語」語彙素：て、「後方共起2キーから2語」書字形出現形：たまる、「後方共起3キーから3語」語彙素：か。

「Vるものか」の検索方法：「キー」品詞：大分類：動詞+活用形：連体形、「後方共起1キーから1語」語彙素：物、「後方共起2キーから2語」書字形出現形：か、「後方共起3キーから3語」品詞：小分類：補助記号一句点。

表1 「Vてたまるか」前接動詞の形式別用例数

基本テ形	受身テ形	使役テ形	合計
61 (55.5%)	46 (41.8%)	3 (2.7%)	110 (100%)

表2 「Vるものか」前接動詞の形式別用例数

辞書形	可能形	複合形式	合計
248 (75.4%)	26 (7.9%)	55 (16.7%)	329 (100%)

表1と表2の比較から、「Vてたまるか」は出現した用例の9割以上が基本テ形または受身テ形で占められており、特に受身テ形の出現率の高さが特徴的である。これに対し、「Vるものか」は辞書形だけで7割を占め、そのほかに複合形式や可能形との共起が見られた。複合形式の内訳は、「～てたまるものか(29例)」、「～てなるものか(11例)」、「～てやるものか(8例)」、「～ずにおくものか(3例)」、「てくれるものか(1例)」、「～ているものか(1例)」の6種で合計55例となっている。

3-2-2 高頻度の前接語

どのような語と共起しやすいかという特徴を探るため、「Vてたまるか」、「Vるものか」の前接語を出現頻度順に示した表3、表4を示す。

表3 「Vてたまるか」高頻度順前接語(総数110 異なり語数40)

頻度順	動詞	用例数	使用例	基本テ形	受身テ形	使役テ形
1	する	22	して/されて/させて	3	16	3
2	負ける	11	負けてたまるか	11	0	0
3	死ぬ	11	死んでたまるか	11	0	0
4	ある	9	あってたまるか	9	0	0
4	わかる	9	わかってたまるか	9	0	0
6	なる	5	なってたまるか	5	0	0
7	食う	4	食われてたまるか	0	4	0
8	とる	3	取られてたまるか	0	3	0
9	やる	2	やられてたまるか	0	2	0
9	捕まる	2	捕まってたまるか	2	0	0
9	なめる	2	なめられてたまるか	0	2	0
9	いる	2	いてたまるか	2	0	0
10	その他(各1語)	28	渡して・逃して等	12	16	0
	合計	110		64	43	3

表3から、「Vてたまるか」の前接語には、話し手の意志的な行為を表す動詞の出現数が非常に少ないという特徴が見られる。出現率の高い「受身」というのは、話し手の意志的行為を表さないものであり、そして、基本テ形の場合にも、話し手の意志的行為を表さない自動詞（負ける、死ぬ、ある、わかる、なる）が上位を占めている点が特徴的である。他動詞は非常に少なく、現れたのは10位の「渡す」「逃す」等、数語のみで、不本意な結果を表すのに用いられている。

表4 「Vるものか」高頻度順前接語（総数 329 異なり語数 76）

頻度順	前接語	用例数	用例	辞書形	可能形	複合表現等
1	ある	55	あるものか	55	0	0
2	する	50	する／できるものか	33	17	0
3	たまる	29	てたまるものか	0	0	29
4	かまう	19	かまうものか	19	0	0
4	なる	19	なる／なれる／てなるものか	4	2	13
6	居る	15	いる／ているものか	14	0	1
6	わかる	15	わかるものか	15	0	0
8	言う	9	言う／言えるものか	7	2	0
9	やる	8	てやるものか	0	0	8
9	知る	8	知るものか	8	0	0
11	負ける	7	負けるものか	7	0	0
12	行く	6	行くものか	6	0	0
12	逃がす	6	逃がすものか	6	0	0
14	信じる	4	信じるものか	4	0	0
15	死ぬ	3	死ぬ／死ねるものか	2	1	0
15	要る	3	要るものか	3	0	0
15	変わる	3	変わるものか	3	0	0
15	おく	3	ずにおくものか	0	0	3
15	来る	3	来るものか	3	0	0
それ 以下	2例×7語 1例×50語	64	答える／貰える／笑える ／てくれる など	59	4	1
合計		329		248	26	55

表4から、「Vるものか」の特徴について述べる。まず、3位の「てたまるものか」や4位の「てなるものか²」のように、複合表現「～てたまる」「～てなる」と共起し、固定

² 「Vてなるものか」も反語専用形式の類義表現だが、その詳細は別稿を期したい。

化したとみられる表現が含まれているという点が挙げられる。そして、「Vてたまるか」とは違って、話し手の意志的な行為を表す動詞との共起も多数見られる。

3-2-3 使用場面

「対人発話」か「心内発話」かという観点から「Vてたまるか」と「Vるものか」の使用場面について調査した。本研究でいう「対人発話」とは、(3)のように、他者に対して伝達することが目的の発話であり、「心内発話」とは、(4)のように、他者に対して伝達することが目的ではない発話を指す。

(3) 「バカ言え。捕まってたまるか!」俺は、拳銃を構えて、言い返した。

(LBi9_00225 9 文学『ライダーの墓標』)

(4) 悲報をきいた美音が躊躇なく自らの命を絶つのはまちがいがなかった。ということは、自分は絶対に死んではならないのだ。死んでたまるか、と思った。

(LBq9_00064 9 文学『闇の剣』)

(3) は、波線部に「言い返した」とあり、聞き手に対して伝達するための発話であることが分かる。これに対し、(4) は、波線部に「と思った」とあるように、聞き手に対する発話ではないことが読み取れる。このように、「～と思った」など、他者に伝達することを目的としないものを「心内発話」とした。「～と思った」の他にも、前後の文脈にある「つぶやいた」、「心の中で叫んだ」などの表現から判定し、カウントした。それを集計したものが表5である。

表5 「Vてたまるか」と「Vるものか」の使用場面

	対人発話	心内発話	合計
Vてたまるか	35 (31.8%)	75 (68.2%)	110 (100%)
Vるものか	174 (52.9%)	155 (47.1%)	329 (100%)

表5から、「Vてたまるか」は心内発話での使用の割合が7割弱と、対人的な使用が少ないことがわかる。これに対し、「Vるものか」では対人発話と心内発話の割合がほぼ半数ずつという結果が得られた。日本国語大辞典(第二版)の「たまる」には、「多く、下に打消しの語を伴って否定の意味で用いる。→たまらない」(p.1124)とあり、「たまらない」は「我慢できない。こらえられない。やりきれない。たえがたい。」(p.1124)と説明される。このように「たまる」を含む「Vてたまるか」は、話し手の感情を直接表すため、対人的な使用には相手や状況が選ばれていることが推測される。

4. 用例の分析

4-1 置き換えの可否

分析に際し、反語の種類を「事態否定型」と「事態否定不能型」に分けて、「Vてたまるか」と「Vるものか」の置き換えに関する使用制約を見ていく。「事態否定型」とは、動詞「来る」で例を示すと、[(あいつが来る) コト] のように、[~コト] という事態を否定するものを指し、「事態否定不能型」とは、[(決して来る) コト]、[(誰が来る) コト] など、[~コト] の形にできないものを指す。

4-1-1 事態否定型：仮定タイプ（未生起事態）

事態否定型の仮定タイプは、未生起の事態について否定的に述べるものである。先行情報なしに話し手の意志的行為を表す(5)や、(6)、(7)のように他者の意志的行為や他者に生じる事態を仮定し否定する場合には、「Vてたまるか」が不自然になる。

(5) わざわざ混んでいる週末に（行くものか／？行ってたまるか）。 (作例)

(6) 魚嫌いな彼が、すし屋に（行くものか／？行ってたまるか）。 (作例)

(7) 前回優勝の信子ちゃんが（負けるものか／？負けてたまるか）。 (作例)

4-1-2 事態否定型：事実不認定タイプ（状態・先行情報）

状態を表す動詞（ある・いる・できる・わかる等）が前接して、その事態を事実認定しないことや、先行情報を受け、その内容を事実認定しないことを表すのが、事態否定型の事実不認定タイプである。この場合、両者は置き換えが可能である。(8)、(9)は「わかる」の例、(10)、(11)は「そんなNがある」の形式で出現する先行情報不認定の例である。(10)のN（馬鹿な事）は、波線部の〔ザビエル公園にいるかがいる〕コト〕を指し、その事実を認定しないことを表す。また、調査データを見ると、Nには、先行情報を内容として受けることができる名詞（こと、話）の使用が見られる。

(8) おまえのような奴に、俺の気持ちがわかってたまるか。平穏な生活を崩したのはおまえのほうさ。
(PB19_00436 9 文学『沈黙者』)

(9) 「生意気を云うな。軽薄な教訓はやめろ。君に俺の心の中がわかるものか。
(PB29_00184 9 文学『達磨峠の事件』)

(10) 何い!!ザビエル公園にイルカがいる!!そんな馬鹿な事があってたまるか!
(OY11_04583 Yahoo!ブログ)

(11) お金を払えば浮気じゃないの？ そんなバカな事があるもんか !!

(OC09_07237 Yahoo!知恵袋)

なお、他者からの先行情報を受け、その情報内容を事実認定しない場合、事態が未生起でも、既生起でも用いられる。そして、未生起、既生起に関わらず「Vるものか」はル形、「Vてたまるか」はテ形で用いられる。ただし、「Vてたまるか」では感情的に直接訴える形の反論になるためか、出現頻度は低く、(12)の1例のみである。

(12) カズマ 「おい！一匹残っていた魚は！俺のグッピーはどうしたんだ！（汗）」

嫁 「グッピー？ あああ、お昼に見たら死んでたわよ！」

カズマ 「しっ、死んだ（° ㄏ °）…。お前、朝見たときはいつもと変わらず元気に泳いでいたやないか！ そんな簡単に死んでたまるか！

、（` ㄏ `；）／」（LBt3_00009 3 社会科学『実録鬼嫁日記』）

4-1-3 事態否定不能型：（「ない」の代用・全量否定）

「Vるものか」は、「かまわない」、「決して～Vない」等、必ず「Vない」で用いる定型表現の否定辞「ない」の代用ができる。また、形容詞「ない」を含む定型表現、「良いも悪いもない」、「～はずがない」等でもその代用ができる。「Vてたまるか」は、〔～コト〕を否定するため、(13)～(16)の「Vるものか」とは置き換えられない。

(13) 〈死んでもいい〉と彼は思った。〈こんな人生などどうなったってかまうもんか！〉

(OB1X_00156 9 文学『青春の門』)

(14) 決して（許すものか／*許してたまるか）。 (作例)

(15) あの店には、二度と（行くものか／*行ってたまるか）。 (作例)

(16) 山岡は一升ばかり飲んで、いい気分になっていたが、「そんなはずがあるものか。人間にけだものが自由にならぬなんて意気地がねえ」と言ったもので(略)

(PB22_00136 2 歴史『山岡鉄舟』)

また、先行研究で指摘されているように、補充疑問文を用いて、全量否定を表す「Vるものか」も〔～コト〕の否定ではないため「Vてたまるか」と置き換えができない。

(17) こんな不便なところまでだれが {来るものか／*来てたまるか}。

(日本語記述文法研究会 2003 : 51、本稿 (2) 再掲)

4-2 置き換え可能で、意味が近似するケースと近似しないケース

同じ前接語が使用でき、「Vてたまるか」と「Vるものか」で意味が近似する場合と、そうではない場合を比較しその理由を検討する。話し手の非意志的な事態を表す「負ける」の用例(18)～(20)で「Vてたまるか」と「Vるものか」の比較を行う。

- (18) 「どうとでも言ってください。うちは本編の出来で勝負しますから」小坂は受話器を叩きつけるように置いた。「あんな野郎に負けてたまるか」そう呟くと、いても立ってもおられず、オフィスを出ると撮影所へ向かった。

(LBI9_00188 9 文学『ホンペンの男たち』)

- (19) 「いや、負けるもんか。おれは親方のおくさん、病気でなくなったおくさんとも約束したんだ」

(LBI9_00015 9 文学『だんまり鬼十』)

- (20) この傘を取り上げてあたしを叩こうとしたってそうはいかないんだと、信子は稲妻のような早さで考えた。クラスの軟弱男たちと腕相撲をしたって負けたことのない腕力なんだ。負けるもんか。

(LBI9_00076 9 文学『理由』)

まず、(18)の「Vてたまるか」では、第三者「あんな野郎」に負けるという事態が成立することは、不快で受け入れられないことを表し、「負けるのはいやだ、絶対に負けたくない」という心情が強く打ち出されることがわかる。これに対し「Vるものか」は、理由を示し、「当然Vない」と事態の生起を否定する。用例(19)では、病気で亡くなった奥さんとの約束を果たしたいという心情的な理由があって、その事態の生起を否定したため、「負けることはできない・負けたくない」というニュアンスが生じる。その結果、(19)は「Vてたまるか」に意味が近似すると考えられる。これに対し、次の(20)では、私は男子に負けたことのない腕力だという物理的・客観的な理由から、「当然Vない」と否定しており、「負けるわけがない・あり得ない」というニュアンスが表される。このように「Vるものか」は、「(理由があって)当然Vない」という話し手の主張を表す。理由が心情的なものだと、「Vてたまるか」に近似するのである。

4-3 分析のまとめ

以上の分析から「Vてたまるか」、「Vるものか」の基本的意味は次のように導かれる。

- (21) 「Vてたまるか」の基本的意味

話し手にとって「Vて〔～コト〕」という事態は、

「堪えがたく受け入れられない・いやだ」という強い反発心を表す。

(22) 「Vるものか」の基本的意味

「(理由があって) 当然、Vない」という主張を表す。

そして、これまでの分析を整理し「Vてたまるか」の特徴をまとめると表6~8のようになる。○は使用可、×は使用不可、△は不自然を表す。なお、両者が○の場合でも、表す意味が近似するとは限らない。

表6 事態否定型：仮定タイプ

事態〔～コト〕の種類		Vてたまるか	Vるものか
【未生起事態】 話し手の事態	非意志的	○負けてたまるか ○やられてたまるか ○あいつに渡してたまるか(不本意)	○負けるものか ○やられるものか ○あいつに渡すものか
	意志的	△ ※出現なし	○教えてやるものか
【未生起事態】 他者の事態	非意志的	△ ※出現なし	○あいつが負けるものか
	意志的	△ ※出現なし	○あいつが来るものか

表7 事態否定型：事実不認定タイプ

事態〔～コト〕の種類		Vてたまるか	Vるものか
【物事の状態】	状態	○公園にペンギンがいてたまるか	○公園にペンギンがいるもんか
【先行情報】 未生起事態も 既生起事態も可	情報 内容	○ 死んだ？うそを言うな！ あんなに元気だった金魚が 死んでたまるか ※出現頻度低	○ 死んだ？うそを言うな！ あんなに元気だった金魚が 死ぬものか

表8 事態否定不能型

否定の種類	Vてたまるか	Vるものか
【「ない」の代用】	×かまってたまるか ×～はずがあつてたまるか	○かまうものか ○～はずがあるものか
【全量否定】	×「疑問詞+Vて」たまるか	○「疑問詞+Vる」ものか

両者の置き換えに関しては、第一に、「Vてたまるか」は話し手にとって「受け入れがたい」という否定的な心情を直接訴えるものである。そのため、話し手の意志的な行為を表す動詞とは共起しにくく、「受身」で表したり、「非意志的自動詞」が用いられることが多い。これに対し、「Vるものか」は行為の実行も否定するため、前接語の種類に制限はなく使用範囲が広い。否定の理由も心情的なもののみならず、物理的、客観的な理由も可能である。同じ前接語で置き換えられる場合を比較すると、文脈上に心理的理由が示された「Vるものか」は、「当然Vない」と主張することによって、間接的に「Vた

くない」といった感情が表されるため、「Vてたまるか」と意味が近似する。第二に、「Vてたまるか」は、[～コト]を否定することが必須である。「Vるものか」とは違い、「ない形」の代用、全量否定としては用いることができない。

5. 類義表現「Vてたまるものか」の考察

本研究で収集した用例の中には、「Vてたまるか」、「Vるものか」に意味的・形態的に類似した表現「Vてたまるものか」が29例出現していた。そこで、「Vてたまるものか」の前接形式・使用場面についてのデータを示してその特徴を考察する。

表9 「Vてたまるものか」の前接形式別用例数

基本テ形	受身テ形	使役テ形	可能テ形	合計
16 (55%)	9 (31%)	3 (10%)	1 (3%)	29 (100%)

表10 「Vてたまるものか」の使用場面

表現形式		対人発話	心内発話	合計
Vてたまるか (110例)		35 (31.8%)	75 (68.2%)	110 (100%)
Vるものか (329例)	<u>Vてたまるものか</u>	<u>10 (34.4%)</u>	<u>19 (65.6%)</u>	<u>29 (100%)</u>
	上記以外	164 (54.7%)	136 (45.3%)	300 (100%)

表9、表10から、「Vてたまるものか」は、受身テ形出現の割合や、対人発話よりも心内発話で用いられるという点で「Vてたまるか」に近い傾向が見られる。また、表6～8で示した「Vてたまるか」の使用制約は、「Vてたまるものか」にも適用できる。このことから、「Vてたまるものか」は、反語マーカーとして「か」の代わりに「ものか」が後接したもので、両者は置き換えても問題は生じないと思われる。本稿(21)、(22)の基本的意味からは、「Vてたまるものか」は「当然、「～て」の事態を受け入れられない」となり、「当然だ」という主張が加味された表現だと考えられる。

6. 日本語教育における提示のポイントと今後の課題

以上を踏まえ、日本語教育における「Vてたまるか」の提示のポイントについて述べる。「Vてたまるか」は、話し手の心情を「たまる」という動詞を用いて直接訴える反語形式で、話し手の反発心を強く表す。そのため、「対人発話」として使用すると、吐き捨てるような言い方となり、挑発的な印象を与える。用いられる文中の呼称を表す名詞に「お前・くそ親父・小僧」などが多く見られることから、敵意や侮蔑的態度を表す際に使用される点に注意を促す必要がある。一方で、「心内発話」として用いた場合には、事態の生起に対する反発心を示すことで強い決意を表したり、直接他者には向けることのできない本音を吐露したりするのに用いられる。それゆえ、対人発話と心内発話のそ

れぞれについて説明することが重要である。

もう1つは、「Vてたまるか」の指導における提示順序である。本稿では事態否定型を仮定タイプと事実不認定タイプに分けて分析を行ったが、出現頻度の観点から、仮定タイプを優先するのが良いと考えられる。「話し手自身の変化や結果(非意志的な自動詞)」、と「話し手にとって不快な他者の行為(受身形: ~ニ~される)」を中心に紹介し、話し手の意志的な行為には用いにくいことを確認することが重要である。

最後に、今後の課題を述べる。本稿は「Vてたまるか」の意味・機能の解明に主軸を置き、動詞接続の「ものか」との比較考察を行った。形容詞接続の「ものか」や、「ものか」の文法化等、「ものか」全体像の解明は今後の課題としたい。

参考文献

- 安達太郎 (2004) 「疑問文における反語解釈をめぐる覚え書き」『京都橘女子大学研究紀要』第31号、pp.35-50.
- 案野香子 (2014) 「現代日本語反語の専用形式「たまるか」「ものか」「(人名詞)があるか」」『大阪府立大学言語文化学研究言語情報編』第9号、pp.53-69.
- 落合太郎・原直美 (2004) 『ハイスコア文法1級 日本語能力試験で差をつける出題基準外の表現』国書刊行会.
- グループ・ジャマシイ (1998) 『日本語文型辞典』くろしお出版.
- 国際交流基金・日本国際教育支援協会 (2002) 『日本語能力試験出題基準〔改訂版〕』凡人社.
- 日本語記述文法研究会 (2003) 『現代日本語文法④第8部モダリティ』くろしお出版.
- 日本国語大辞典第二版編集委員会・小学館国語辞典編集部 (2001) 『日本国語大辞典(第二版)第八巻』小学館.
- 日本語文法学会 (2014) 『日本語文法事典』大修館書店.

使用データ

- 国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 (<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>)
中納言 2.4.5 データバージョン 2020.02. (2020年7月13日最終確認)
- 堀恵子ほか (2015) 『機能語用例文データベースはごろも』バージョン 2.2.
(<https://www.hagoromo-text.work/>)

付記

本稿は、さいたま言語研究会 2020 年度研究大会で発表した内容に基づいています。研究会では先生方から多くのご教示を賜りました。心より御礼申し上げます。

(埼玉大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程)